



未聽考陸集初編

白

鳥山藏書

第	部
第	數
NO.	
全	冊
摘要	

特別
イ 4
3163
18(2)



貴
44
3163
18(2)



鶯蛙集下卷

恋

恋部

白きものこころにわびてめききつひの勢とてさきさき
ついでにわびてわびてさきさきわびてさきさき
さきさきわびてわびてさきさきわびてさきさき
中よきの心車にわびてさきさきわびてさきさき
わびてさきさきわびてさきさきわびてさきさき
淡川原をわびてさきさきわびてさきさき
さきさきわびてさきさきわびてさきさき
おもしろいさきさきわびてさきさきわびてさきさき

竹内直道

秋告

森居孝熙

藤井高尚

磐里

徳能

俊栄

忠順

正種
 之正
 三輪
 伴廣
 道一
 女
 英為
 源女
 宜珍
 春庭
 仲雄

寫下二

初恋

是心
 輔長
 定政
 保成
 渚平
 久足
 美記
 清魚
 芳久
 嘉基

忍恋

忍候恋

待空恋	連夜待恋	深夜待恋	夕待恋	田鶴女	守一	通孝	保成	正彦
中ノヨシ月ノホシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ
為彦	美稻	野有年	整方	殿	一	孝	成	彦

鶯下三

來不 苗恋	過門 不入恋	變約恋	悦 偽言恋	疑行未恋	通書恋	思恋	斤思
中ノヨシ月ノホシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ	ムシムシムシムシ
恒例	渚平	百枝	美石	建正	是正	永平	守一
折鳥							清夫

忍
不逢恋
來
不逢恋

山守
懸樹
千柳
言林
尚能
盛業
高匡
緒史
重老
安海

寫下四

久
不逢恋
逢
恋

守一
種實
濱臣
清海
一
名
儀
美記
重老
懸里

夢
中
逢
恋

初
逢
恋
書
逢
恋
掃
逢
恋

佐
長
美
重
懸

厭恋

中ふ清き水に流るる心は
人かたむきし心は

野村有年

偏三日恋

はしるる心は
妹をあはれむ心は

守一

偏遠路恋

恋の山深の道は
恋の海深の道は

繁里

隔川恋

恋の川を隔てて
恋の川を隔てて

安守

恨恋

恨の心は
恨の心は

正孝

孫重

互恨恋

互に恨む心は
互に恨む心は

昌守

人傳恨恋

人傳の恨恋
人傳の恨恋

顯周

恨後悔恋

恨後悔の恋
恨後悔の恋

言林

難忘恋

難忘の恋
難忘の恋

棟隆

被忘恋

被忘の恋
被忘の恋

清川

頭恋

頭の恋
頭の恋

為田かま文

恋

恋の心は
恋の心は

市岡猛彦

恋

恋の心は
恋の心は

竹内直道

直見

年蔭

正蔭

名立恋

あめねのこころはのちのちたむらさき

中山 藝樹

かきつばたのうらみはあはれ

葉

あはれはあはれはあはれ

盛次

不惜名恋

あはれはあはれはあはれ

年長

変恋

あはれはあはれはあはれ

近田 八束

あはれはあはれはあはれ

竹内 直道

あはれはあはれはあはれ

鹿取 清充

あはれはあはれはあはれ

伴 雄

一夜変恋

あはれはあはれはあはれ

小 稻

絶恋

あはれはあはれはあはれ

春 庭

菅下七

絶後恋

あはれはあはれはあはれ

藤 女

逢不遇恋

あはれはあはれはあはれ

清 夫

久恋

あはれはあはれはあはれ

保 成

契入経年恋

あはれはあはれはあはれ

高島 正興 式部

遠恋

あはれはあはれはあはれ

照 信

月前恋

あはれはあはれはあはれ

秋 告 文 清

春 恋
田 舍 恋
寤 覚 恋
行 路 恋
夜 恋
夕 恋

春の恋はさかづき花の香に
田舎の恋はあまのこゝろ
寤覚の恋はあまのこゝろ
行路の恋はあまのこゝろ
夜の恋はあまのこゝろ
夕の恋はあまのこゝろ

春 恋
田 舍 恋
寤 覚 恋
行 路 恋
夜 恋
夕 恋
恭平
清島
訪平
正方
直見
芳文
大成
惠通
安守
直道

竹内
管下八

秋 恋
夏 恋

秋の恋はあまのこゝろ
夏の恋はあまのこゝろ
秋の恋はあまのこゝろ
夏の恋はあまのこゝろ
秋の恋はあまのこゝろ
夏の恋はあまのこゝろ
秋の恋はあまのこゝろ
夏の恋はあまのこゝろ
秋の恋はあまのこゝろ
夏の恋はあまのこゝろ

義方
守年
尊澄
芳樹
保成
守一
永章
清魚
秀守
残桜

冬恋

あまのこころをこころにまかせたてまつるは
あまのこころをこころにまかせたてまつるは
あまのこころをこころにまかせたてまつるは
あまのこころをこころにまかせたてまつるは
あまのこころをこころにまかせたてまつるは
あまのこころをこころにまかせたてまつるは
あまのこころをこころにまかせたてまつるは
あまのこころをこころにまかせたてまつるは
あまのこころをこころにまかせたてまつるは
あまのこころをこころにまかせたてまつるは

昭信

安海

修省

久浮

真由羅

壽仙

昭信

汎近

幸緒

秀守

恋賤女

管下九

恋隣人

あまのこころをこころにまかせたてまつるは

都兼女

等思
兩人

あまのこころをこころにまかせたてまつるは

良臣

等思
八人

あまのこころをこころにまかせたてまつるは

保成

幼恋

あまのこころをこころにまかせたてまつるは

正蔭

老恋

あまのこころをこころにまかせたてまつるは

義實

恋書

あまのこころをこころにまかせたてまつるは

齊貞俊

恋衣

あまのこころをこころにまかせたてまつるは

廣足

義質

恋命

かゝる恋の命は

源女

あはれなる命は

清魚

あはれなる命は

平麿

恋涙

あはれなる命は

伴廣

あはれなる命は

之正

恋夢

あはれなる命は

常達

恋面影

あはれなる命は

水重雄

寄天恋

あはれなる命は

成章

寄月恋

あはれなる命は

竹村茂枝

寄星恋

またせもあはれなる命は

國井

春翁

寄雲恋

あはれなる命は

稻葉

千枝

寄雨恋

あはれなる命は

田鶴女

寄露恋

あはれなる命は

尊澄

寄煙恋

あはれなる命は

正孝

寄星恋

あはれなる命は

青木

茂房

寄雲恋

あはれなる命は

幸緒

寄雨恋

あはれなる命は

八束

寄露恋

あはれなる命は

良臣

寄煙恋

あはれなる命は

汎近

寄笛恋
 寄鼓恋
 寄枕恋
 寄衣恋
 寄糸恋

書房ふかけくさあはの髪をよこす中の流の流くさくさ
 りよひさしよの書房を流くさくさくさくさくさくさ
 つまきから流の髪をよこす中の流の流くさくさ
 こまゆの流くさくさくさくさくさくさくさくさ
 いしやうくさくさくさくさくさくさくさくさ
 りよひさしよの書房を流くさくさくさくさくさ
 めのやうの流くさくさくさくさくさくさくさ
 ましよの流くさくさくさくさくさくさくさ
 年よの流くさくさくさくさくさくさくさ
 くさくさくさくさくさくさくさくさくさくさ

百枝
 昌守
 武足穂
 清女
 年長
 年平
 長常雄
 森聰松
 豊方
 春庭

寄車恋
 寄船恋
 寄鐘恋
 いん
 あし
 ちう
 あし

ちうの流くさくさくさくさくさくさくさ
 ましよの流くさくさくさくさくさくさくさ
 つまきから流の髪をよこす中の流の流くさくさ
 初よの流くさくさくさくさくさくさくさ
 同よの流くさくさくさくさくさくさくさ
 けしよの流くさくさくさくさくさくさくさ
 つまきから流の髪をよこす中の流の流くさくさ
 よの流くさくさくさくさくさくさくさ
 月よの流くさくさくさくさくさくさくさ

守年
 仲雄
 是正
 賢教
 汎近
 為彦
 茂岳
 正方
 秋告
 慧葉

Handwritten text for '濱' (Hamana) in cursive script.

Handwritten text for '此女' (Kono Onna) in cursive script.

Handwritten text for '田鶴女' (Tsuruhime) in cursive script.

Handwritten text for '永平' (Eihei) in cursive script.

Handwritten text for '清年' (Shounen) in cursive script.

Handwritten text for '尊孫' (Sonson) in cursive script.

Handwritten text for '年長' (Nancho) in cursive script.

Handwritten text for '小稿' (Shougou) in cursive script.

Handwritten text for '永世' (Eisei) in cursive script.

Handwritten text for '容隆' (Yurou) in cursive script.

Handwritten text for '千廣' (Senzhou) in cursive script.

Handwritten text for '正禎' (Shougen) in cursive script.

Handwritten text for '残桜' (Zan'oh) in cursive script.

Handwritten text for '年彦' (Nenbiko) in cursive script.

雑部

天

Handwritten text for '尊孫' (Sonson) in cursive script.

Handwritten text for '年長' (Nancho) in cursive script.

Handwritten text for '小稿' (Shougou) in cursive script.

Handwritten text for '永世' (Eisei) in cursive script.

Handwritten text for '容隆' (Yurou) in cursive script.

Handwritten text for '千廣' (Senzhou) in cursive script.

Handwritten text for '正禎' (Shougen) in cursive script.

Handwritten text for '残桜' (Zan'oh) in cursive script.

星

月

日

天

雲

夕雲に霞のふりては雲のたもとに

中山 繁樹

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

志首 延年

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

大橋 藤女

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

盛之

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

容隆

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

蟹樹

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

正蔭

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

佐野女

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

祐俊

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

八田

風

竹窓

雨

萬里無雲

海上

山雲

夜雨静

山雲

海上

萬里無雲

竹窓

雨

風

晚風

動簾

夕風の吹く中庭の草花の影を

安蔭

浦煙

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

易興

漁村煙

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

頭平

暁天

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

清夫

暁天

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

源女

朝晝

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

是正

幽夕

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

正蔭

山

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

濱臣

山

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

安守

山

あけの雲は霞のふりては雲のたもとに

安守

船中
眺望

國

旧都

古郷

古郷竹

古郷松

古城

古戦場

みせの浦の舟のふねをみつゝゆくはのちのふ

とほしとる屋敷の浦の舟のちのちのちのち

流るるく運もくゆくゆきし山内郡の村のちのち

さげやちのちの村の古今をみよめり一名のちのちのち

世をそとちの部のあつたつちのちのちのちのち

異あれそちのちのちのちのちのちのちのちのち

ふらふちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

ほらちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

もくちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

みつちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

蟹里

上田
定行

山内
磐樹

時夏

久浮

うね女

土屋
藤女

芳鷹

清年

蟹里

萱下二十一

古戦場
月

古宅

仙家

山家

けさの甲の子をみよめりわが里のちのちのちのち

あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

よちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

あらそちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

ちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

竹村
仲雄

茂枝

義質

菅賢

田鶴女

正氏

竹村
春庭

直道

芳樹

周改

山家雲	かくれとひ流の傍家さるる事まをりゆふはし	中島
山家雨	静かなるしるしの山をせよとていかにいかに	廣足
山家風	まねふとていかにいかにいかにいかに	守一
山家煙	まろしあはれあはれあはれあはれあはれ	関雄
山家夕	山崎のあまきあまきあまきあまき	久煉
山家	うまふとていかにいかにいかにいかに	熊夫
幽々	生山もたぐ煙のまをみよとていかにいかに	年平
	山崎のゆきゆきゆきゆきゆきゆき	知空
	山崎のゆきゆきゆきゆきゆきゆき	うね女
	山崎のゆきゆきゆきゆきゆきゆき	義質

菅下廿二

山家苔	山崎のゆきゆきゆきゆきゆきゆき	清川
山家松	山崎のゆきゆきゆきゆきゆきゆき	徳義
山家杉	山崎のゆきゆきゆきゆきゆきゆき	俊雅
山家夢	のゆきゆきゆきゆきゆきゆき	隴任
山家客	うまふとていかにいかにいかにいかに	幸年
田家	まねふとていかにいかにいかにいかに	廣王
田家水	清らかなるゆきゆきゆきゆきゆき	文樹
田家鳥	あそぶゆきゆきゆきゆきゆきゆき	壽仙
幽居	うらたのゆきゆきゆきゆきゆきゆき	うね女
望山	ゆきゆきゆきゆきゆきゆき	伴雄

閑居

のりて世のうらやまをうらやまにまじりて

清水 宣昭

のりて世のうらやまをうらやまにまじりて

濱雄

こゝろにまじりて世のうらやまをうらやまにまじりて

裁之

こゝろにまじりて世のうらやまをうらやまにまじりて

天外

閑居雨

もやもやと雨の音はかきこえてはるかに

蟹里

わが心は雨の音にまじりてはるかに

源女

ついでに雨の音にまじりてはるかに

清川

閑居水

垣下の苔の上のうらやまは水にまじりて

繁里

閑居水聲

うらやまは水にまじりてはるかに

守一

閑居友

うらやまは水にまじりてはるかに

建正

鶯下共三

竹亭臨水

早門のうらやまは水にまじりて

恭平

隣

みぎのうらやまは水にまじりて

昌守

別

えひのうらやまは水にまじりて

安海

別

せのうらやまは水にまじりて

重規

小津正啓

うらやまは水にまじりて

直見

本居永平

うらやまは水にまじりて

諸平

うらやまは水にまじりて

年平

春別

うらやまは水にまじりて

正盈

我がいづれ部のまきまき... 高鞆

六月ころ水あきあき... 中島

船きり堀の川の... 廣足

うきうき... 壽仙

ん洲く... 義貨

旅泊 ゆく船... 清夫

うきわ... 磐里

うきわ... 塩有年

つね... 草

たぐ... 菅下廿六

苔 佐山... 清直

諸人の... 廣足

檜 榎... 山内 繁樹

竹 風... 八十村

禁中竹 くれ... 世茂

窓竹 ち... 高鞆

庭竹 ち... 青澄

松 秋... 三積

美記

山 松
 雨 中 松
 暮 山 松 風
 遠 山 松
 巖 松
 松 写 洞 水
 松 映 色 水

いづろふ年あはれ旅人のまはるまはるかたことそちれ
 まちまはれなきもやうはるまはるまはるまはるまはる
 ぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれ
 とてしきしきしきしきしきしきしきしきしきしきしき
 位方りぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれ
 ちきちきちきちきちきちきちきちきちきちきちきちき
 心ゆくゆきゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
 ちきちきちきちきちきちきちきちきちきちきちきちき
 谷門の早急な影をてててててててててててててててて
 古地の水もみまはれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれぬれ

正 民
 真 阪
 う 此 女
 好 古
 藤 女
 光 秋
 年 蔭
 義 質
 古 蔭
 昭 信

寫下廿七

海 辺 松
 名 所 松
 榊
 桐
 梔
 鳥
 鶴

北麓の里根の松のついでに松の種と波のよせをむ
 わさささささささささささささささささささささささ
 磯のしらべもふよふよふよふよふよふよふよふよふよふ
 年これと老とさささささささささささささささささささ
 みままままままままままままままままままままままま
 世とてななままままままままままままままままままま
 ちきちきちきちきちきちきちきちきちきちきちきちき
 しねしねしねしねしねしねしねしねしねしねしねしね
 ね火の強のまはるまはるまはるまはるまはるまはるまはる
 いまももももももももももももももももももももももも

守 一
 伴 雄
 弘 岡
 漁 雄
 夏 門
 永 章
 高 鞠
 義 質
 廣 滋
 保 成

朝鶴	あさづつの鶴をいふはたまたまのあまのむねをいふ	義方
鶴立洲	志のたてまをいふはたまたまのあまのむねをいふ	義質
松下鶴	仙のたて根をいふはたまたまのあまのむねをいふ	友干
人の丹頂の鶴	人の丹頂の鶴をいふはたまたまのあまのむねをいふ	公輔
鷲	ついでに鷲のたて根をいふはたまたまのあまのむねをいふ	昌守
	浩谷の二上山のあまのむねをいふはたまたまのあまのむねをいふ	保成

雞	たて根の上の山をいふはたまたまのあまのむねをいふ	種実
幽居雞	はたまたまのあまのむねをいふはたまたまのあまのむねをいふ	幸年
鳥	はたまたまのあまのむねをいふはたまたまのあまのむねをいふ	源女
朝鴉	あさづつのおをいふはたまたまのあまのむねをいふ	藤女
鳩	あまのむねをいふはたまたまのあまのむねをいふ	為彦
鶉	あまのむねをいふはたまたまのあまのむねをいふ	徳辰
鳥	あまのむねをいふはたまたまのあまのむねをいふ	残櫻
	あまのむねをいふはたまたまのあまのむねをいふ	容隆
	あまのむねをいふはたまたまのあまのむねをいふ	昌守
	あまのむねをいふはたまたまのあまのむねをいふ	永平

龜

酒

茶

煙

あつゝの亀のこゝろはひびくも世にまむあ澄せし
 松屋のはらみおろす地いふも母のこゝろに
 川水のつゝぬ所をの海をかりひらめく亀もむし
 一しみの海をわたるかゝるなるらゝいひも
 おろしつゝ海のみまを
 かゝる人よのこゝろはかたのふりかゝるめくゝ
 縁やゝむしぬるもの深深けね風のまをせぬか
 人心ののこゝろはひびくも世にまむあ澄せし
 えそゝのこゝろはひびくも世にまむあ澄せし
 とゝめおろしつゝ海のみまを

鶴夫
 容隆
 久浮
 師房
 辻四
 信道
 安守
 年蔭
 春門
 常久

あつゝのこゝろはひびくも世にまむあ澄せし

書籍

披書
思昔

詠史

平ふお澄せしつゝ海のみまを

源平お澄のまじりの名をこゝろにまむあ澄せし

よゝみぬるも世にまむあ澄せし
 楊木の板おろしつゝ海のみまを
 去りぬるも世にまむあ澄せし
 らひおろしつゝ海のみまを
 はらみおろしつゝ海のみまを
 かりぬるも世にまむあ澄せし
 平ふお澄せしつゝ海のみまを

尊孫
 守一
 武樹
 みづ女
 源女
 幸年
 尊滝

空 蝉 ちり水とてふかきしほの川を渡るいし
葵の春の中一車あつきのころ

田鶴女
永平

明 石 うしほわびたつとも書者の短しむを別まのひ

関 屋 こころをかきとるむのたもとまの短しむを別まのひ

手 習 ようらうの短しむを別まのたもとまの短しむを別まのひ

鷗 行 姑 未 ころすふゆいし 英まの短しむを別まのたもとまの短しむを別まのひ

夜 学 まるうの短しむを別まのたもとまの短しむを別まのひ

詩 兼 世もあつて流ぬとていし 兼の短しむを別まのたもとまの短しむを別まのひ

真襟
尊流
百枝

殿村常冬ころうしむの詩とて合せてを別まのひ

春庭

芙蓉石の美人粧水殿風来珠翠香ころは心を

比のうと流るるあつたふゆいしむを別まのひ

巧 言 今 色 まるうの短しむを別まのたもとまの短しむを別まのひ

曆 久しうの短しむを別まのたもとまの短しむを別まのひ

少 郡 休 枝 河 十 首 社 申 小

四 手 二 本 おあつたの短しむを別まのたもとまの短しむを別まのひ

吉原 燈籠 かきとる流るるあつたふゆいしむを別まのひ

幸年
正主
百枝

金

あつちりしすかひらぬも花あつちり

竹村 茂枝

玉

あつちりしすかひらぬも花あつちり

源 女

石

あつちりしすかひらぬも花あつちり

伴 廣

鏡

あつちりしすかひらぬも花あつちり

汎 込

鬼尾

あつちりしすかひらぬも花あつちり

鳥 彦

鏡

あつちりしすかひらぬも花あつちり

保 成

鏡

あつちりしすかひらぬも花あつちり

容 隆

鏡

あつちりしすかひらぬも花あつちり

清 夫

鏡

あつちりしすかひらぬも花あつちり

永 平

風鈴

あつちりしすかひらぬも花あつちり

永 平

拂子の

あつちりしすかひらぬも花あつちり

高 鞞

枕

あつちりしすかひらぬも花あつちり

正 蔭

布

あつちりしすかひらぬも花あつちり

汎 込

錦

あつちりしすかひらぬも花あつちり

時 夏

笠

あつちりしすかひらぬも花あつちり

安 海

車

あつちりしすかひらぬも花あつちり

信 壽

船

あつちりしすかひらぬも花あつちり

豊 平

岸頭

あつちりしすかひらぬも花あつちり

昌 守

待船

あつちりしすかひらぬも花あつちり

俊 雄

待船

あつちりしすかひらぬも花あつちり

正 方

仁	勇	西	巽	高	八	似	り
孝の徳をいふ	山よりの	ふ	ら	あ	横	似	り
義言	清年	清臣	忠順	芳久	尊朝	千廣	内遠

貢	恩	及	武	源	忍	馬	天	和
近江の	あ	ゆ	源	源	大	馬	天	和
容隆	本 定良	吉 從	守 一	正 孝	清 年	高 朝	清 魚	清 魚

女のよしみあはれ

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

秋告

いつか若きつとていふおとをてん天門のあまのまへへ

年長

貧女

よそおれくもつるもあはれいづれにやとてをわづらひ

易興

僧

かひてよとておのれをいふの世をいふの世をいふ

天外

あつておのれをいふとていふおとをいふおとをいふ

俊彦

あつておのれをいふとていふおとをいふおとをいふ

種実

尼

あつておのれをいふとていふおとをいふおとをいふ

尊徳

あつておのれをいふとていふおとをいふおとをいふ

守一

還俗尼

あつておのれをいふとていふおとをいふおとをいふ

八十村

菅平甲二

工

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

定行

樵夫

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

繁里

樵夫

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

壽仙

遊女

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

松根

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

俊雄

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

顯周

傀儡

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

正彦

辻君

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

周政

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

いづれにいつかあはれなむと云ふの由を云ふ

靖平

七十ふちりけり

年月を始めてお世の中の人々の花のつゆり

重遠

いそぎをこころをこころに七車力車かたつむり

青山正俊

月前
迷懐

おはるる月のおちりてはれぬお世の中

是正

初春
迷懐

春のつゆりてはれぬお世の中

真種

夏迷懐

夏のつゆりてはれぬお世の中

山内繁樹

冬迷懐

冬のつゆりてはれぬお世の中

知雄

寄
迷懐

白雲ふらふらぬお世の中

是正

歳暮
迷懐

棒子まきつゝぬお世の中

良臣

鳥下四三

寄山
迷懐

とて世の人をたづねぬお世の中

種実

寄道
迷懐

ちかきお世の中をたづねぬお世の中

光輔

寄州
迷懐

白雲のつゆりてはれぬお世の中

千別

お世の中をたづねぬお世の中

美記

お世の中をたづねぬお世の中

守一

お世の中をたづねぬお世の中

恒例

お世の中をたづねぬお世の中

知雄

お世の中をたづねぬお世の中

義質

お世の中をたづねぬお世の中

和男

お世の中をたづねぬお世の中

保成

高平

高平の地味を好む

顯周

顯周の地味を好む

うね女

うね女の地味を好む

義行

義行の地味を好む

長総

長総の地味を好む

清魚

清魚の地味を好む

守年

守年の地味を好む

宜陽

宜陽の地味を好む

國胤

國胤の地味を好む

美石

美石の地味を好む

景明

景明の地味を好む

高平の地味を好む

顯周

顯周の地味を好む

うね女

うね女の地味を好む

義行

義行の地味を好む

長総

長総の地味を好む

清魚

清魚の地味を好む

守年

守年の地味を好む

宜陽

宜陽の地味を好む

國胤

國胤の地味を好む

美石

美石の地味を好む

景明

景明の地味を好む

外 寄 書 懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

野村 有年

懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

是 正

月 前

あはれなる昔の情を思ふ

小 稻

懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

年 平

夏 懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

廣 滋

秋 懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

美 石

水 邊 懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

久 浮

鈴木 年 彦

寄 書

懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

竹 村 雄

あはれなる昔の情を思ふ

あはれなる昔の情を思ふ

や 日 女

あはれなる昔の情を思ふ

あはれなる昔の情を思ふ

中 島 廣 足

あはれなる昔の情を思ふ

あはれなる昔の情を思ふ

清 魚

寄 露 懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

永 平

暁 懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

為 彦

夜 懐 舊

あはれなる昔の情を思ふ

漁 女

春懷舊 遠よりきくも ちかぢかぢの月をあはれしを 爲彦

西行上人六百五十回忌ふ寄る懷舊 吉原の山母のめいも ちかぢかぢの月をあはれしを 重胤

浮世の世りあまう母の月あはれ 堀江 千船

秋懷舊 秋風をきくとあまうの月あはれしを 良成

石原の三四忌ふ秋懷舊 石原の三四忌ふ秋懷舊 磐根 佐藤 清夫

珍名の中三四忌ふ

釋教 昔より神の附あまうの月あはれしを 茂岳

地獄 世に心よりきくも ちかぢかぢの月あはれしを 祐俊

如是作 火のあまうの月あはれしを 正弦

古寺 水よりきくも ちかぢかぢの月あはれしを 是正

古寺西 荒れきつてあまうの月あはれしを 俊彦

那智 ちかぢかぢの月あはれしを 清庭

當麻 ちかぢかぢの月あはれしを 安緒

高鞠

神祇

なみききほく事ね幸徳門世の事徳く昔ふ
もいふくわい事男の徳もまきまの科のちいし
中徳門下し思根のえねうこ徳も世のちよき
清ねえいし事科のちいしんく石屋水くいな

清直
山内
道古
是正

社頭

ゆきききつ枝さく事さく社生科く世ぬい
いふいふいふいふいふいふいふいふいふ
月々の御行りまきいし

警樹
山内
忠傳

わいけいさくいふのちねは陰たつ月りふえさく
後摩まつこの事ふ

和男

竹村
茂枝

實下四十九

吉原永曲とやしらへま一美備の 東馬官御旅所つら
うくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
をとりね枝さくさくさくさくさくさくさく

千度

祝

君の事老をぬ枝さくさくさくさくさくさく
昔原の中つ團をさくさくさくさくさくさく
君の事やらの門をさくさくさくさくさくさく
君の事やらの門をさくさくさくさくさくさく
あつあつ林の心まらねもゆいさくさくさくさく
老ちかうさくさくさくさくさくさくさく
眼さくさくさくさくさくさくさくさくさく

正主
中島
宜門

秋告

清魚

威次

竹
儼昌

春日祝
寄日祝

周政
 孝澄
 祐俊
 重胤
 言林
 守一
 盛之
 小縮
 田鶴女

かき入るるを後らむに於ては其の後のよろしき
 心も世にむすぶるにむすぶるにむすぶるにむすぶるに
 教へたる言の葉の如くありて思ふにむすぶるに
 善い事もむすぶるにむすぶるにむすぶるにむすぶるに
 まさしくしての浦人せむしむすぶるにむすぶるに
 未遠き事もむすぶるにむすぶるにむすぶるにむすぶるに
 多事他氏の言の葉もむすぶるにむすぶるにむすぶるに

曾下五十二

春庭
 芳久
 中島
 廣足
 茂岳
 直兄
 百枝
 内遠
 長田
 北等之
 正輔

公の
 愛小
 後後國の言の葉もむすぶるにむすぶるにむすぶるに
 桂木の言の葉もむすぶるにむすぶるにむすぶるに
 まさしくしての浦人せむしむすぶるにむすぶるに
 まさしくしての浦人せむしむすぶるにむすぶるに
 まさしくしての浦人せむしむすぶるにむすぶるに
 まさしくしての浦人せむしむすぶるにむすぶるに
 まさしくしての浦人せむしむすぶるにむすぶるに
 まさしくしての浦人せむしむすぶるにむすぶるに

百歳の
 心静
 野無
 實賢
 恭平
 逸民
 幸國
 恭平世

廣足 種實 遠貫 関雄 是正 效忠 美記 保成
 木名十二 鳥名七 折句 内遠

野遊 六々山人 寄月 迷懷 旋頭歌 安蔭 百枝 安緒

今様風

寒夜人

あさみくねさむいとおくらのきささゆあられ 内遠

ねぼりあさみくねさむいとおくらのきささゆあられ

深夜
怨情

ねぼりあさみくねさむいとおくらのきささゆあられ

ねぼりあさみくねさむいとおくらのきささゆあられ

桐壺帝

あさみくねさむいとおくらのきささゆあられ 清家
定雄

あさみくねさむいとおくらのきささゆあられ

些事の朝臣像うさささ

あさみくねさむいとおくらのきささゆあられ 宣長

あさみくねさむいとおくらのきささゆあられ

青海波の中いの名

すいの名あさみくねさむいとおくらのきささゆあられ 大平

すいの名あさみくねさむいとおくらのきささゆあられ

天地をくわう鬼神をもつとせむ世に遊らうと
 かくらば世の中より人々の心を奪はる中にもさうし
 の見ればのまゝの年法けては好むにやいふも年比
 ぬくも探はしむれど心はくまひ言ひ事と母は豊頼の
 からの法あるを驚蛙集を急法くとす
 新年に水あもくきよき水は清なり
 其の鳥はを志すは阿の鳥なり

丹遠

鶯蛙集作者姓名

名のみみハおくことおくも阿のハてきもの改めそくう
 音ハおのひ列とるからりよるそ漢具なりをたらん

阿

安歎	因幡 鳥取藩	就鳥見勘解由	安河	阿波藩	賀島清五郎
安海	伊勢 白子	沖正藏	安守	伊勢 松坂	殿村佐六
安長	尾張 名古屋	大口安次郎	安道	阿波 徳島	大鹽與一右衛門
安且	美濃 大垣	久世吉郎助	安道	伊豫 八幡濱	野井善三郎
安緒	紀本宮 社家	玉置狭島	安女	播磨 姫路	利根川彦兵衛女

伊為

依古 紀藩

岡野氏

依平 遠江伊達方

石川為藏

一衛 難波

花垣衛門

音澄 安藝廣島

市川文昌

有年 紀日高

鹽路秀菴

有年 安藝廣島

野村正精

祐俊 紀狐島

覺圓寺

友直 佐渡小本濱

中川吉郎兵衛

友傳 伊豫宇和島

末光長三郎

友實 伊豫宇和島

末光志津馬

友千 京

倉谷圭水

易興 紀藩

神野蔀

夷守 周防三田尻

五十君又一郎

為彦 播磨姫路

上月紀伊守

菅初一

維文 難波

高山元節

惟通

齋藤

尹久 出雲芳久男

富永仙之助

郁女 紀藩

小田兵庫母

友女 伊豫宇和島

末光公信妻

八女 出雲杵築

千家之正妻

伊与女 伊勢松坂

須賀直見妻

衣惠

延年 紀藩

志賀彌三左衛門

延年 播磨姫路

堀直左衛門

延香 攝津岡町

田中真太郎

延裕 紀藩

田中仲右衛門

永章 肥前長崎諏訪本司

青木丹波守

永世 伊豫宇和島

二神重兵衛

永等

陸奥 湯元

比佐 佐右衛門

榮慧

信濃

練光寺

英棟

三河 國府

平松 次郎左衛門

英為

伊勢 松坂

奧井 又右衛門

遠里

伊勢 津

川喜 多又大夫

遠貫

紀 在田

山田 瑠頭

圓中

志摩 鳥羽

西念寺

延壽

尾張 名古屋

花井 川海妻

英女

紀藩

小田 兵庫伯母

於遠

應寅

紀藩

有本 兵庫

應叙

美濃 兼山

藤掛 文助

夔滿

遠江 白須賀

夏目 嘉右衛門

翁慶

伊豫 宇和島

木村 又藏

加

嘉基

尾藩

森光 太郎

嘉言

難波

村田 嘉言

嘉名

志摩 鳥羽

岩井 清兵衛

可清

紀藩 在田

淺山 次兵衛

夏門

陸奥 井坂

赤井 左衛門

雅典

紀藩

浦野 雄輔

雅足

出雲 持築

平岡 主殿

孝修

紀藩

田淵 勇次郎

孝正

紀藩

河村 彌九郎

孝玄

出雲 持築

北島 市正

孝澄

紀藩

川口 久楠

孝熙

尾張 名古屋

森居 又兵衛

孝平

紀藩

橋友 章

高門

江戸

高尚

備中吉備津宮社司

藤井長門守

高雅

高尚孫

藤井下總守

高匡

伊勢松坂

三井則右衛門

高鞆

周防宮市天満宮社司

鈴木武雄

高平

出雲大野社司

清水式部

高重

紀田辺

岡崎喜兵衛

向峯

河波藩

賀島長市

好古

紀藩

宮居伊大夫

幸年

紀若山

稻葉久左衛門

幸緒

河波德島

寺澤泰順

康敬

京

小泉將曾

行敏

伊豫宇和島

都築九右衛門

行篤

出雲杵築

渡邊周甫

冨道

出雲杵築

藤間忠兵衛

效忠

伊豫宇和島

信崎善藏

覺山

紀多手

釋迦寺

覺道

紀在田

常樂寺

可那女

播磨姫路

吉田助十郎妻

可受女

美濃高須藩

原田小三郎妹

可能女

紀若山

湯川金兵衛女

歌女

紀藩

的場源四郎妹

伎

義旬

紀藩

加納氏

義言

近江志賀谷

長野主馬

義方

紀藩

濱名嘉右衛門

義信

紀藩

山中吉兵衛

義行

伊賀上野

杉井守助

義質

紀若山

松村勝助

宜玠

肥後天草

上田源大夫

宜門

因幡鳥取

中島祝保

喜滿女	喜從	久足	久影	久浮	久達	久方	喜蔭
<small>阿波藩</small>	<small>伊賀上野</small>	<small>伊勢松坂</small>	<small>阿波德島</small>	<small>紀伊前宮社家</small>	<small>出雲杵築</small>	<small>伊勢山田</small>	<small>伯耆米子</small>
長江清海母	杉井平六	小津與右衛門	伊月孝郷	西村上總	島田掃部	蓬萊雅樂	佐々木出羽守
	吉伴	吉滿	久道	久壽	久秋	久敬	記定
	<small>阿波德島</small>	<small>出雲杵築</small>	<small>紀藩</small>	<small>久浮男</small>	<small>紀藩</small>	<small>京</small>	<small>伊豫八幡濱</small>
	渡川八次郎	別火治部	水崎又兵衛	西村左近	山田雄次郎	多大和守	淺井十兵衛

當初四

廣臣	廣道	廣足	廣滋	光周	光滿	光秋	久
<small>尾藩</small>	<small>石見上渡田村</small>	<small>肥前長崎</small>	<small>因幡鳥取</small>	<small>江戸鉄炮洲</small>	<small>江戸</small>	<small>紀藩</small>	
平野春策	田中貢	中島太郎	衣川三郎		小田清吉	土岐孫次郎	
廣主	廣蔭	廣足	廣俊	廣城	光護	光輔	
<small>信濃</small>	<small>伊勢桑名</small>	<small>伊豫宇和島</small>	<small>紀藩</small>	<small>伊勢瀧野</small>	<small>肥後熊本</small>	<small>肥前長崎</small>	
森禎之進	富樫莊左衛門	宍戸市作	淺井吉左衛門	堀内利右衛門		近藤半五郎	

廣門

紀熊野

城四郎左衛門

關雄

陸奥 泉折

菊田佐輔

菅彦

紀 日前宮

森本安藝

菅賢

紀藩

古屋藤之助

貫忠

紀若浦

高照房

鶴夫

難波

長田作五郎

鶴群

紀藩 在江戶

吉岡宅右衛門

鶴女

伊勢 津

草深玄弘母

計

元教

紀藩

朝倉三之丞

元恭

出雲 松江

岡田權七

元貞

伊勢 松坂

長谷川次郎兵衛

元嗣

伊豫 宇和島

実戸素介

元苗

近江 彦根藩

三浦於菟吉

言林

出雲 杵築

中式部

彦滿

江戶

齋藤可伶

頭滿

紀藩

志摩友齋

頭周

紀伊

田所左衛士

頭平

頭周男

田所八郎

賢教

出雲 松江

沙門

健冬

出雲 松江

香川肥後守

景康

伊豫 宇和島

梶原久兵衛

景樹

京

香川肥後守

景久

紀藩

竹村又橘

景明

出雲 杵築

吉川友次郎

景秀

近江 信樂

藤尾東作

惠通

出雲 松江

普門院

經甄

紀藩

吉田權十郎

經一

肥後 阿蘇守

宮川近江

慶香

阿波 德島

来原文節

敬美

陸奥 仙臺

那須幸助

鶯初五

敬女

伊豫 宇和島

鈴木源兵衛母

桂女

淡路

真野氏

建女

紀藩

川合豹藏母

源女

播磨 姫路

吉田助十郎母

兼女

伊豫 宇和島

都築行敏妻

古

古式

紀藩

鈴木芳右衛門

古道

三河 吉田

實相院

古蔭

因幡 鳥取

小谷浪江

公章

出雲 松江

桃大藏

公信

伊豫 宇和島

末光志摩女

公輔

京

河本文太郎

公美

紀若山

太田圭女

公雄

肥後 天草

尾上文治

當初六

弘訓

伊勢 山田

足代權大夫

弘範

播磨 平福

神吉新右衛門

弘岡

紀 矢宮社司

矢田土殿

弘佳

弘岡男

矢田彦光

弘泰

飛彈 高山

山崎十郎右衛門

弘泰

近江 信樂

高橋渡

興輝

紀藩

真木六之右衛門

興之

伊勢 山田

中西左衛門

恒例

伊豫 宇和島

柳島勇馬

國胤

播磨 姫路

森田榮次

興女

紀若山

高垣八之右衛門母

古代女

紀在田 菟島社司

栗山治保妻

佐

三冬

紀目前宮 國造

紀麻績主

三子

京

堀尾紀伊掾

三積

長門 萩

静間衡介

三訓

江戸

三申

伊豆 德倉村

井坂適翁

裁之

紀藩 在芦

長井長橘

残櫻

京

沙門艸露

三野女

伊勢 松坂

荒木九兵衛女

佐野女

伊賀 上野

八田舎柱妻

佐多女

志

氏純

近江 信樂

多羅尾鞆負

師房

伊豫 宇和島

安代極人

之正

出雲 杵築

千家山城

之方

阿波 徳島

湯浅丈太郎

時夏

紀在田 千田村

岩橋主膳

時賞

紀藩

小谷勘解由

慈旨

紀若浦

正法院

自寛

江戸

三島吉兵衛

真淵

江戸

岡部衛士

真種

出雲 松江

小泉彌右衛門

真鶴

伊豆 伊豆浦

濱野忠兵衛

真史

駿河 須山村

渡邊五郎

真由羅

紀 太田村

藤田穂波

真榛

阿波 徳島

池部太平

真坂

阿波 徳島

小倉貞吉

真船

安藝 廣島

大島壽菴

真榮

出雲 廣瀬

小林

信壽

紀藩

山高左近

信昌

出雲 廣瀬

竹矢五百枝

信明

紀藩

宗方彌三五郎

信贊

日向 高十徳

土持靈太郎

信道

伊勢 三野

过岡十左衛門

親持

伊熟松坂

青木半右衛門

俊雄

紀藩

倉垣衛守

俊彦

紀在田立神社司

中山甲斐守

俊和

紀在田三友男

紀大夫

俊雅

阿波德島

東照寺

俊榮

出雲杵築

千家孫九

純門

近江信樂

多羅尾久齋門

春門

江戸

村田蟹守

春島

駿河品野村

足立無支平

春蔭

尾藩

鈴木多門次

春房

伊勢津

芝原武次郎

春雄

紀黒江

加納總太郎

春重

伊勢津

小西太郎兵衛

春翁

黒江

國井某

春平

江戸

岡部藏人

秋古

紀藩

山林周平

〔寫初八〕

秋告

京

林安五郎

秀雄

因幡勝宿社司

飯田筑前守

秀守

紀目前宮社家

江川兵衛

秀恭

紀南郡

芝健藏

修省

紀藩

中島昶吉

周舜

紀新宮菴主

金剛院

周政

紀藩

武津喜七郎

種實

日向延岡

樋口四郎左衛門

充香

紀藩

山田善左衛門

守一

伊賀上野

入交太郎右衛門

守年

伊豆牧御

飯田儀助

守住

紀在田

辻喜兵衛

守訓

伊勢山田

井面神主

守臣

出雲杵築

中村文大夫

松樹

紀南郡

岡崎才藏

松根

肥前佐加藩

古川與一

勝房

紀若山

高橋十兵衛

昌守

紀若山

小谷岩楠

尚忠

紀藩

山田莊左衛門

尚能

紀藩

山村兵之進

常達

伊勢山田

久志本神主

常久

伊勢松坂

殿村萬藏

常樹

伊豫宇和島

若松常樹

常岳

伊勢松坂

中里恒藏

常鳩

伊豫宇和島

岡原下総

常雄

伊勢松坂

長谷川武右衛門

諸平

紀藩

加納兵部

諸史

周防岩國

上林圓藏

渚滿

周防熊毛郡

兼清兼兵衛

殖政

紀太田村

藤田總右衛門

織一

紀若山盲人

伏原織一

舍柱

伊賀上野

八田井助

壽仙

三河新城

深見壽仙

實村

紀藩在芦

齊藤大次郎

俊女

紀藩

山高信壽女

受真尾

難波

山中氏

式部

京

高畠氏女

須

雛女

近江信樂

多羅尾純門女

須賀女

紀南郡

熊代繁里妻

勢

千廣

紀藩

伊達藤二郎

千蔭

江戸

加藤又左衛門

千船

石見笹倉村八幡宮社司

堀江叁河守

千枝

紀藩

稻葉総三郎

篤初九

千浪

江戸

加藤彌助

千別

近江 朽木

中江久右衛門

千稻

伊勢 瀧野

堀内利太郎

千楯

京

城戸範次

千郷

伊勢 津

芝原養藏

千墾

尾張 熱田

栗田國雄

千穎

若狹 小濱

石田勘兵衛

全孝

出雲 北島國造

天目隅宮御杖代

宜昭

尾張 名古屋

清水太左衛門

宜陽

近江 高島

高島伊兵衛

善朋

紀藩

松田幸次郎

善道

善朋弟

松田忠三郎

善水

紀日高

瀨見彦衛門

善苗

伊豆 吉田村

西光寺

正脩

紀若浦 天満喜司

安田能五守

正蔭

出雲 竹築

中臣典膳

正典

伊豫 宇和島

松浦上總

正從

紀藩

水野信吉

正周

紀藩

山東權十郎

正伸

紀藩

西郷圖書

正言

伊豫 宇和島

二宮市衛門

正禎

伊豫 八幡濱

二宮春祥

正輔

京

大堀正輔

正直

播磨 姫路

西城戸楠馬

正雄

伊豆 熊投村

竹村源五郎

正誠

備後 府中

木村忠平

正盈

尾張 名古屋

間島安四郎

正胤

紀田辺

矢野平衛門

正勝

安藝 廣島

末田勝次郎

正興

伊勢 松坂

岡山春海

正俊

播磨 南段原村

青山源左衛門

正主

紀若山

和田九内

正匡 阿波田宮 新居因幡 正方 正匡男 新居因幡

正甫 出雲松江 余村四郎三郎 正孝 伊勢山田 根木谷彌三郎

正民 紀須原 北畠次兵衛 正弦 三河 [Redacted]

政臣 美濃中島村 高橋治六 政壽 伊勢射和村 竹川彦左衛門

清 安藝廣島 岡田清太郎 清 安藝土生 藤川新三郎

清直 伊勢山田 御巫向書 清魚 阿波藩 早川庸吉郎

清川 阿波松島郷 七條六堂 清海 阿波藩 長江寛藏

清雄 伊勢松坂天王社司 笠因能守 清夫 紀若山 高内右衛門七

鶯初十一

清信 出雲音字郡 大坪行造 清年 出雲杵築 田中數馬

清則 伊豫宇和島 簡野北面 清臣 紀藩 千賀藤太郎

清根 京北野 松圓房 清里 伊豫宇和島 井上河内

清庭 阿波徳島 板東精兵衛 清充 美濃関 鹿取初三郎

清女 難波 山本三次郎女 晴潔 紀藩 大畑織居

精芳 紀若山 岩崎百助 世茂 志摩 森岡理兵衛

成美 紀若山 佐伯三郎兵衛 成章 京 富士谷專衛門

盛之 伊豫大洲 高橋竹九郎 盛次 伊豆熊坂村 竹村源助

盛業

伊勢山田

大國左大夫

整方

伊勢松坂

殿村宗右衛門

靜實

紀田

山田榮吉

昭信

紀藩

增田正平

小稻

紀田

山田榮吉

是正

紀若山

高垣之右衛門

石翁

陸奥

觀音寺

石滿

陸奥

佐藤

千枝女

江戸

眞光寺女

宣女

伊豫

宍戸元嗣妻

汐女

因幡

飯田委雄妻

曾

尊孫

出雲大社
千家國造

香隅宮御代

尊澄

尊孫男

千家杖代

鶯初十二

尊晴

尊孫弟

千家主

尊朝

尊澄弟

千家薰丸

孫重

出雲
杵築

赤塚小女

足穗

伊豫大洲

武田助右衛門

足穗

陸奥
瀬上

稻村元碩男

多

大海

常陸
高濱

鬼澤仁左衛門

大成

伊豫
宇和島

宍戸平内

大種

日向延岡
種實男

樋口英吉

泰刈

近江
彦根

富田甚右衛門

泰次

伊豫
宇和島

小西卓藏

泰平

紀田

鈴木玄朴

陶政

紀藩

望月九八郎

道門

紀藩

宮脇正之丞

道利

出雲朝山郷

小豆澤七十郎

道古

駿河岡部

山内新四郎

道一

紀伊

那須熊吉

道堪

西山善次

智

知雄

伊勢龍野

瀧野藏人

知紀

薩摩藩

八田喜左衛門

知空

尾張名古屋

沙門

治保

紀伊在田兼島社司

栗山駿河守

治堅

因幡鳥取

臼井尔三

忠顯

紀藩

垣屋十郎兵衛

忠順

三河刈屋

村上善卿

忠恒

紀藩

山田種之丞

忠友

京

穗井田尔少

忠傳

紀藩

笈四兵衛

忠茂

紀藩

嶋田榮五郎

仲雄

尾藩

千村伊豫

中庸

伊勢松坂後在京

服部尔内

中清

出雲松江

黒澤外源次

直道

紀藩

三木尔三郎

直道

周防宮市天爲宮社司

鈴木和泉

直道

伊勢松坂

竹内彦市

直兄

京加茂

松田伊豫守

直見

伊勢松坂

須賀正藏

直豊

紀永穗村

山名正次郎

直臣

伊豆

羽田清助

重遠

伊賀

今堀玄貞

重老

出雲杵築

嶋彈正

重胤

重老男

島兵庫

重雄

播津岡町

水田内記

重規

重道

陳阿和泉

光明寺

定雄

伊豫八幡濱

清家下總

定政

大和古市

北浦儀助

定良

江戸

木村俊藏

定行

肥後天州宜珠孫

上田源大夫

定穀

備中倉敷

水澤常太郎

長總

阿波藩

賀島禎藏

長言

伊豫宇和島

富津淺之允

長穗

紀若山

安田長穗

長孝

洛西廣澤

望月八好

長廣

京

大橋九右衛門

長平

紀新宮

堀宇仙

長峽

阿波藩

梯左衛士

長知

京

富山源之助

長儀

信濃下畑村

佐木七郎右衛門

鶯初十四

長世

江戸

岩崎大良

長興

伊勢田丸

金森得水

長女

紀在田

岩橋時夏妻

都

通孝

紀藩

稻葉儀八郎

通寬

紀藩

夏目次郎兵衛

通春

伊豆江間村

石井範七

通駿

伊豆江間村

石井清次郎

通庸

伊豆江間村

石井半七

互

貞俊

尾張清須中島宮司

齋藤播磨守

貞義

阿波德島

和田久右衛門

聽松

森田

天外

大和

觀音院

田鶴女

伊豫大洲

高橋虎之助母

登

土滿

遠江尾公幡宮侍

栗田壹岐守

德能

日向延岡

河野駒助

德義

出雲猪目

飯島源三郎

徳辰

伊勢山田

井坂傳兵衛

篤

尾張名古屋

大鐘與六衛

棟隆

伊勢松坂

稻掛什次

登波女

三河吉田藩

岩上傳兵衛母

祢

年長

出雲松江

増田善胤

年蔭

紀高

田端喜三兵衛

年平

因幡秀雄男

飯田十郎

能

能知

出雲松江

米田熊太

波

八束

伊豫野田村

近田安右衛門

八十村

飛彈古川

蒲與三兵衛

繁樹

三河吉田藩

中山仙太郎

繁樹

紀南部

山内太郎兵衛

繁里

紀南部

熊代源藏

繁憲

繁樹男

山内保輔

繁葉

阿波 德島

竹内龜五郎

磐根

陸奥 瀨上

阿部源七

伴雄

紀藩

長澤衛門

伴廣

河波 德島

三輪少一郎

汎近

紀見前宮 社家

森本安藝

方朗

遠江 有土村

高林舍人

方貞

日向 延岡

橋本用七郎

芳久

出雲 杵築

富永多久知

芳樹

長門 萩

近藤晋一郎

芳鷹

伊豆 重須村

土屋喜藤次

房生

紀若浦 垂高替

高松河内守

邦彦

紀南部

澁谷平八郎

末壽

伊勢 山田

益谷六學

比

當初十六

百枝

紀藩

山田八右衛門

濱雄

阿波藩

賀島美代藏

濱臣

江戸

清水十長

美一

伊豫 大洲

季羽主殿

美記

阿波藩

蜂須賀之丞

美石

三河 吉田藩

中山彌助

美韶

紀藩

小杉七郎

美孝

紀藩

小倉儀七郎

美稻

伊豫 宇和島

井上平馬

美隆

河内 花園

岩崎清兵衛

美勝

紀藩

室友甫

美楯

京

福田左兵衛

比等之

難波

長田作次郎

美知女

尾藩

市岡猛彦妻

美濃女

淡路

真野氏

美濃女

伊勢 松坂

小津勘右衛門妻

布

武政

伊賀上野

石田三郎左衛門

武清

伊豫宇和島

菊池紹慶

武樹

日向諸縣郡

黒木次右衛門

文清

出雲杵築

佐草圖書

文樹

紀藩

服部半左衛門

文蔚

紀藩

小出平九郎

福全

紀若山

吉良傳次郎

文女

伊勢松坂

殿村整方妻

邊

平保

播磨室津

岡大隅

保

賞初十七

保成

紀藩

小島世川源

保己一

江戸

塙檢校

保真

美濃高須

服部七郎衛門

豊方

阿波藩

牛田春之助

豊平

伊豆吉野寺

穂積只亭

輔長

出雲松江

藤田簾平

輔尹

出雲松江

藤田林右衛門

黙軒

京

前波黙軒

末

猛彦

尾藩

市岡藤太郎

美

民雄

京

佐保徳兵衛

民女

京稻荷山

羽倉東麻呂女

米

明

紀若山

寺澤宗哲

母

茂雄

伊豆 熊坂村

竹村平右衛門

茂枝

茂雄孫

竹村平右衛門

茂枝

志摩 鳥羽

岡田十郎右衛門

茂殖

阿波 德島

曾根猪十郎

茂岳

尾藩

植松莚衛門

茂濟

難波

殿村平右衛門

茂房

伊勢 松坂

青木江藏

望見

伊豆 多賀村

相磯瑞菴

由

鶯初十八

遊翁

江戸

海野翁

熊夫

紀藩 在難波

森三折

與

譽正

越後 新津

桂東吾

容隆

紀若山

松村六左衛門

羅

朗

尾藩

鈴木常久

頼中

伊豫 宇和島

須藤權右衛門

頼女

伊勢 田丸

理

利高

紀藩

山下藤右衛門

利在

伊豫 宇和島

白石右左羽

隆女	隆風	隆臣	良臣	良直	龍夫	利充
<small>紀藩</small>	<small>伊丹</small>	<small>紀本宮</small>	<small>伊丹</small>	<small>紀藩</small>	<small>紀藩</small>	<small>美濃高須</small>
小出文母祖母	大橋	受川三兄	中村孫四郎	小原八三郎	伊達五郎	吉田詠甫
	倫龍	隆春	良弼	良盛	龍住	龍磨
	<small>伊勢清水村</small>	<small>紀若山</small>	<small>良臣男</small>	<small>近江多賀</small>	<small>阿波德島</small>	<small>遠江細田</small>
	勝鬘寺	平松禎藏	中村孫四郎	寶珠院	白糸藤兵衛	石塚安右衛門
礼						

鶯初九

蓮空	蘆菴	和通	和男
<small>紀在田</small>	<small>京</small>	<small>紀藩</small>	<small>出雲松江</small>
常樂寺前任	小澤 蘆庵	中村久之助	木村庫七
蓮和		和夫	
<small>難波</small>		<small>紀菴</small>	
尾崎蓮和		福田石候	
吕			

此外家族 九人

總計

作者五百三十二人
歌 二千六百九十首

春五百六十三首 夏三百六十九首
秋四百九首 冬三百八十四首
戀二百九十首 雜六百四十七首
雜躰二十八首

鶯初二十

本居

打聽炊寫蛙集二編

此川作さ上巻とりかめりて
高家より不及り地つわう
川流子ゆふらふ所不希

嘉永五年十一月

紀州若山駸河町

書林

阪本屋喜一郎
同藩昌平河岸
阪本屋大二郎

